

ほんごう

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和7年4月30日
No. 2

UDLを通して主体的に学習できる子どもへ

学ぶ力育成部 佐藤 亜紗

「先生、この問題は、友達と一緒に考えてみます！」

「先生、今日は、ノートではなくタブレットで自分の考えをまとめます！」

本校が、UDL（学びのユニバーサルデザイン）を授業に取り入れるようになり、1年が経ちました。UDLとは、主体的に学習に取り組む子どもたちを育てるための授業の形のことです。UDLでは、「何を」「どのように」「なぜ」学習するのかという3つの要素で学びを捉えています。教師は、子どもたちがどこでつまづくのかを事前に予測して、学習環境を整えることで、どの子どもたちも学習に取り組めるようにします。

昨年度、校内研究の中で公開された授業を例に挙げます。

国語の「書く」学習では……	算数の学習では……
・何のために文章を書くのかという目的を明確にする。 ・ワークシートの形を工夫して、書くことが苦手な子どもの抵抗感を減らす。 ・作文用紙に書くか、クロームブックを使って書くかを選べるようにする。	・今日の授業のゴール（目的）を全員で授業の最初に共有する。 ・難易度が示された問題を見て、どの問題を解くかを選べる。 ・練習問題を誰と解くか選べる。 ・困ったら、いつでも答えを確認できる。 ・ねらいに応じて、電卓を使用できる。

このように、授業のゴール（目的）を達成するために、子どもたちが自分に合った方法を選択して学習に取り組めるようにしたことで、子どもたちの学習意欲は高まりました。今では、冒頭のように、自分で学びをつくっていかうとする姿が見られるようになってきました。このような学びを積み重ねていくことで、札幌市が大切にしている【自ら「～したい」ことを見付けて、自分でどうすればよいかを考えたり、話し合ったりして、解決していく力を身に付けていく】姿を実現できるのではないかと考えています。

ご家庭で学習をするときも、「今、自分に必要な学習は何か」「自分に合った学習方法は何か」を考えられるようになると、さらに主体的な学びができるようになります。学校でも、発達段階に応じて子どもたちの「学ぶ力」を高めていきますので、ご家庭でもご支援をよろしくお願いいたします。